童謡「どんぐりころころ」の３番は、作者不明ですが、次のように歌われています。
これを受けて、４番～８番までを作詞し、あなたの文学的感性を示してください。

◆３番の歌詞　　どんぐりころころ　ないてたら
（作者不明）　　なかよし　こりすが　とんできて
おちばに　くるんで　おんぶして
いそいで　おやまへ　つれてった

解答例）

４番　どんぐりころころ　冬の山　落ち葉のふとんで寝ていたら
あの日の子リスがやってきて　頭をがりがりかじったよ

５番　どんぐりころころ　目がさめた　昨日の友は今日の敵
渡る世間は鬼ばかり　早く芽を出せ春よ来い

６番　どんぐりころころ　月めぐり　今では立派な木になった
お山の子リスがやって来て　私にどんぐりちょうだいな

７番　どんぐりさわさわ　秋の風　お池にはまった思い出よ
どじょうの寂寞いくばくぞ　落ち葉の手紙をしたためた

８番　どんぐりころころ　エコロジー　子リスがつくったこの森を
次代につないでいきましょう　自然の摂理を理解した